

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和6年6月6日(木)
感染症対策センター
(衛生環境研究所)

令和6年第14週から第17週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(14週～17週)4週 (R6.4.1～R6.4.28)	前回(10週～13週)4週 (R6.3.4～R6.3.31)	前々回(6週～9週)4週 (R6.2.5～R6.3.3)
1 インフルエンザ (543) [↓1,006]	1 インフルエンザ (1,549)	1 新型コロナウイルス感染症(1,222)
2 新型コロナウイルス感染症 (468) [↓317]	2 新型コロナウイルス感染症 (785)	2 インフルエンザ (1,067)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (466) [↓49]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (515)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (631)
4 感染性胃腸炎 (440) [↓40]	4 感染性胃腸炎 (480)	4 感染性胃腸炎 (573)
5 咽頭結膜熱 (77) [↓13]	5 咽頭結膜熱 (90)	5 咽頭結膜熱 (93)
6 その他 (53) [↑9]	6 その他 (44)	6 その他 (64)
(合計 2,047)	(合計 3,463)	(合計 3,650)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は2,047件であり、41%(1,416件)の減となった。

減少した疾病	
インフルエンザ	65%
新型コロナウイルス感染症	40%
咽頭結膜熱	14%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10%
感染性胃腸炎	8%

3 コメント

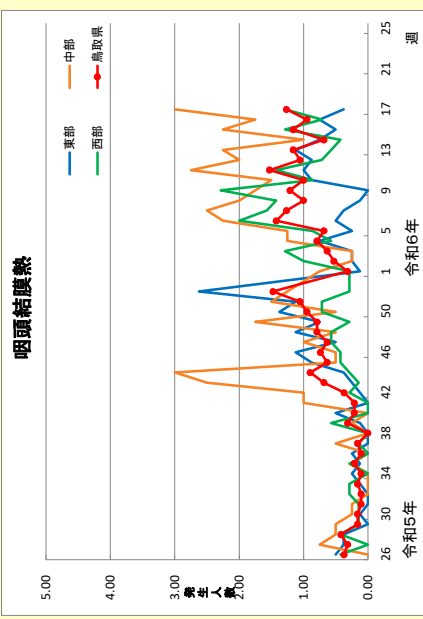
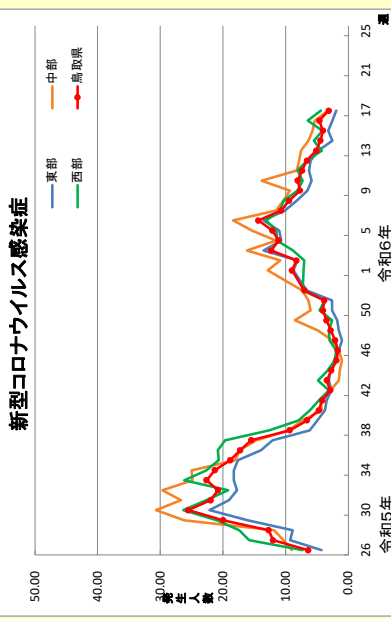
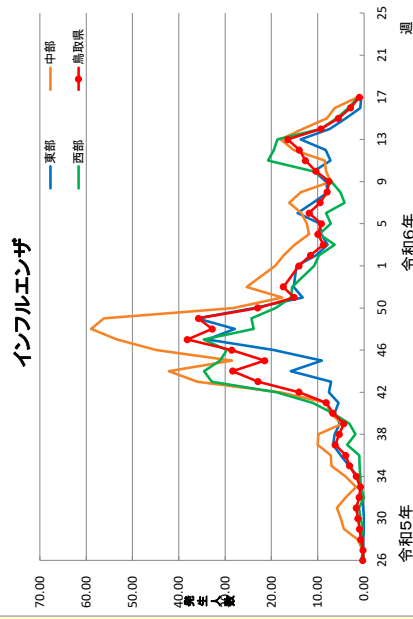
- ・インフルエンザは、4月17日に注意報は解除され、5月の中旬には流行期の目安を下回りました。また、新型コロナウイルス感染症は、2月中旬をピークに減少傾向ですが、依然として一定数の患者報告が続き、集団感染事例も散発している状況です。手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。
咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- ・県内全域にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令しています。手洗い、消毒、咳エチケット等の感染予防をお願いします。
- ・ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が多い状況が続いており、集団感染事例も確認されています。トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。
- ・咽頭結膜熱が中部地区で増加しており、注意が必要です。原因となるアデノウイルスはアルコールが効きにくいいため、石けんと流水でのこまめな手洗いやタオルの共用を避けるなどの感染予防をお願いします。

令和6年第14週～第17週の報告患者数

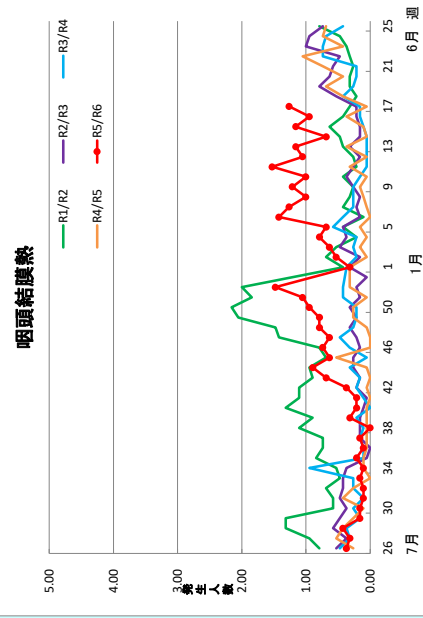
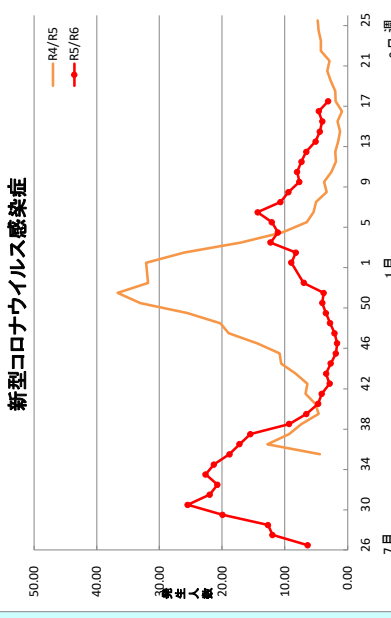
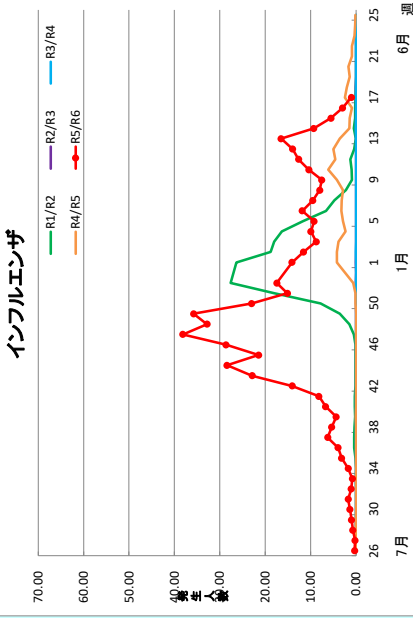
令和6年5月2日 作成

区 分	今回報告患者数 第14週～第17週(4週分)					前回報告患者数 第10週～第13週(4週分)				前々回報告患者数 第6週～第9週(4週分)				前回比 増 減	令和6年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	152	173	218	543	-1,006	479	299	771	1,549	495	303	269	1,067	-65%	4,711
2 新型コロナウイルス感染症	121	123	224	468	-317	274	224	287	785	459	297	466	1,222	-40%	4,002
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	19	32	26	77	-13	31	34	25	90	8	34	51	93	-14%	316
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	233	100	133	466	-49	190	118	207	515	313	112	206	631	-10%	2,318
5 感染性胃腸炎	259	102	79	440	-40	214	121	145	480	234	116	223	573	-8%	1,998
6 水痘	1	6	1	8	-6	2	2	10	14	3	1	4	8	-43%	34
7 手足口病	0	1	2	3	-2	2	2	1	5	3	1	8	12	-40%	34
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	-1	0	1	0	1	0	0	0	0	-100%	1
9 突発性発疹	6	4	6	16	4	1	7	4	12	2	7	12	21	33%	62
10 ヘルパンギーナ	0	0	2	2	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0%	5
11 流行性耳下腺炎	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	0	1	3	4	-100%	6
12 RSウイルス感染症	5	1	8	14	10	1	1	2	4	6	1	4	11	250%	34
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	1
14 流行性角結膜炎	3	0	1	4	1	2	0	1	3	1	0	2	3	33%	18
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	1	0	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	-	6
16 無菌性髄膜炎	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	2	0%	7
17 マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	-	1
合 計	802	542	703	2,047	-1,416	1,199	809	1,455	3,463	1,525	874	1,251	3,650	-41%	13,555

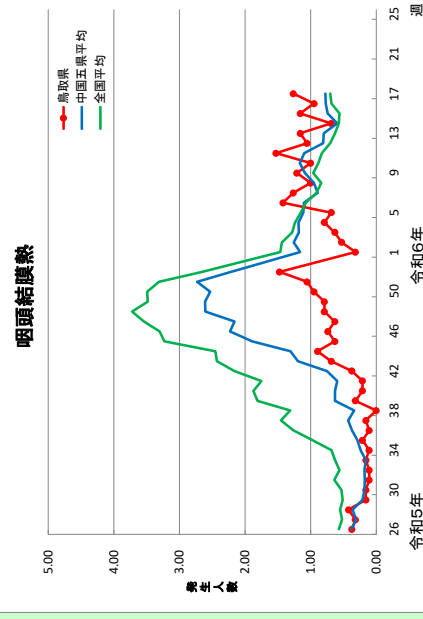
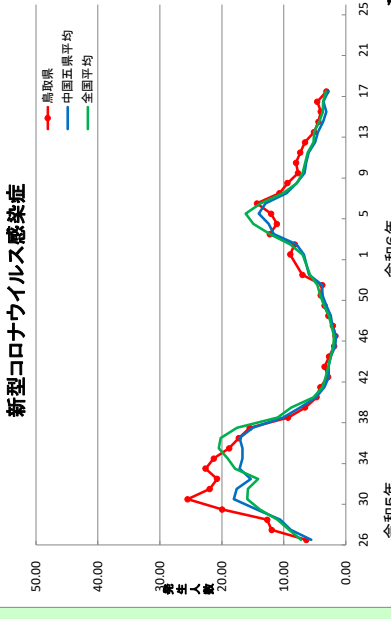
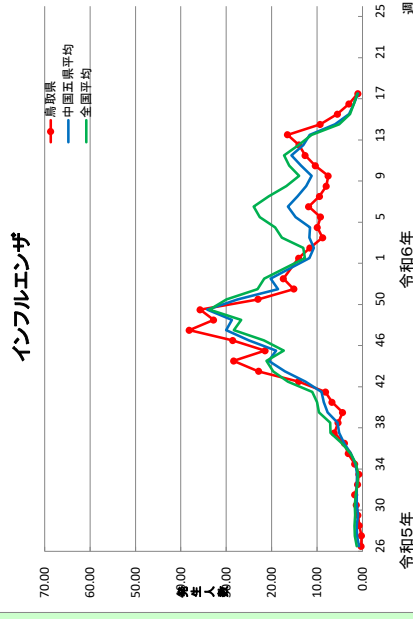
地区別発生状況グラフ(定数当たり)



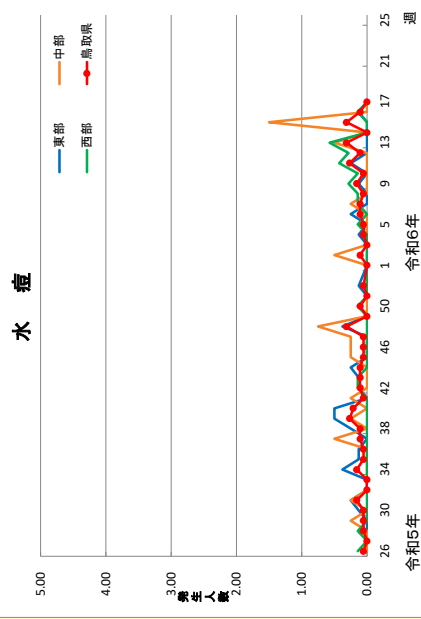
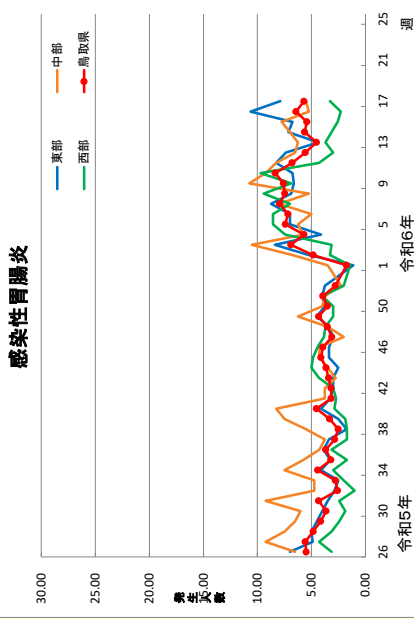
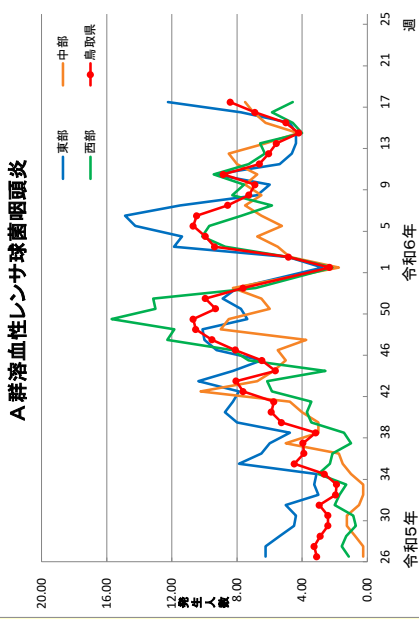
年次別発生状況グラフ(定数当たり)



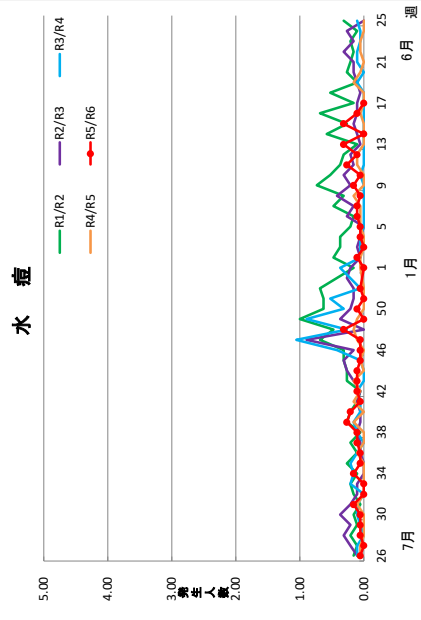
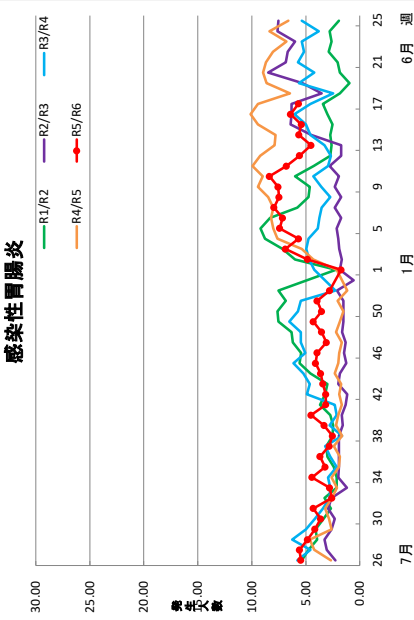
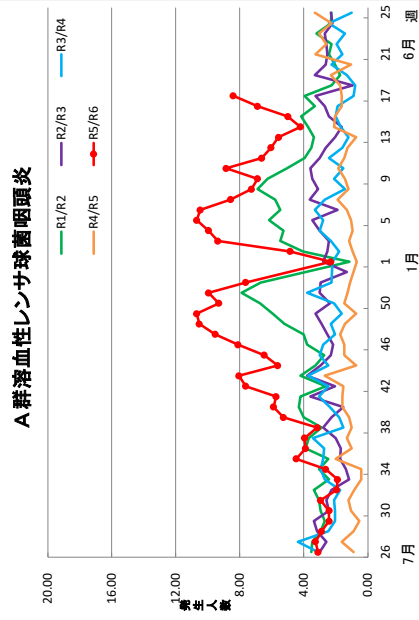
中国五県平均・全国平均との比較(定数当たり)



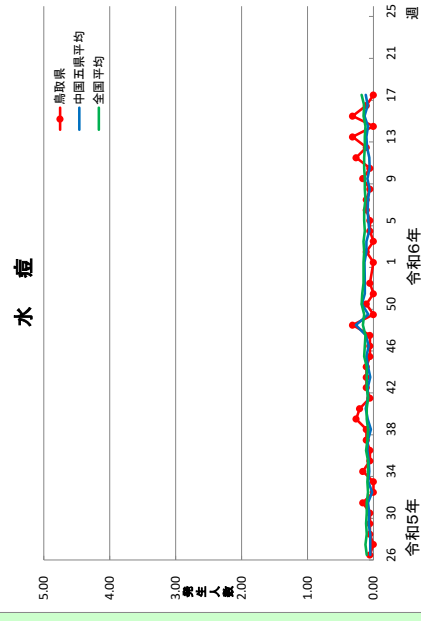
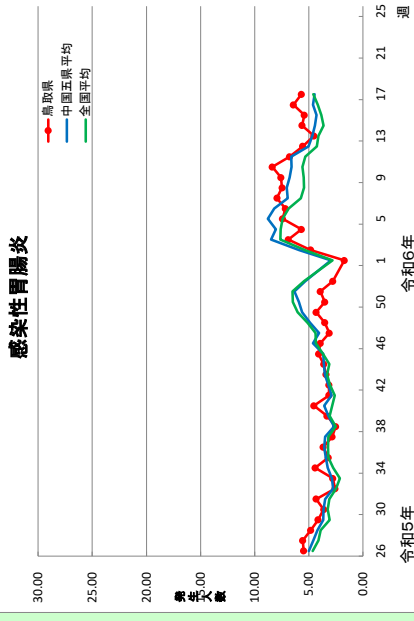
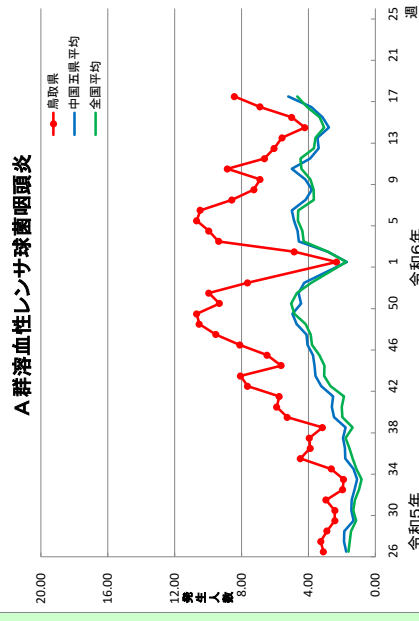
地区別発生状況グラフ(定数当たり)



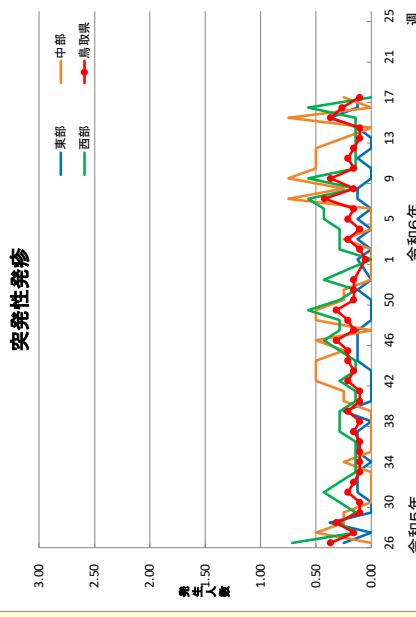
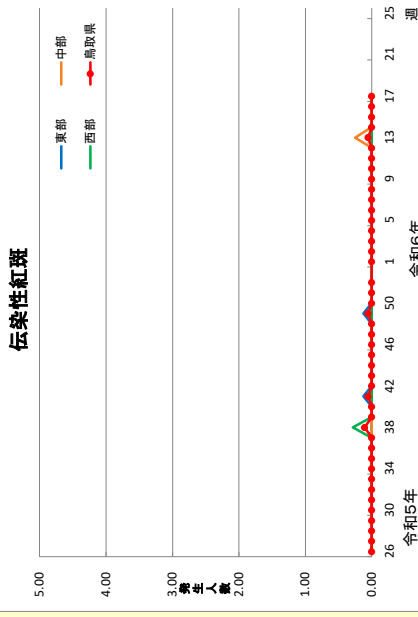
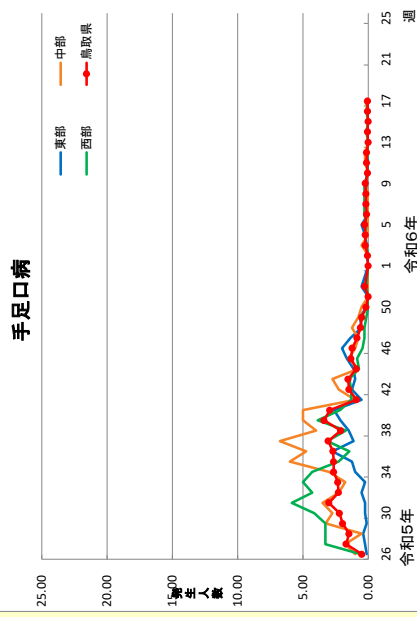
年次別発生状況グラフ(定数当たり)



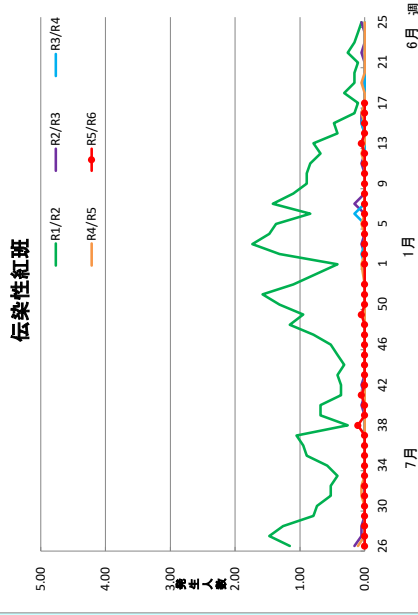
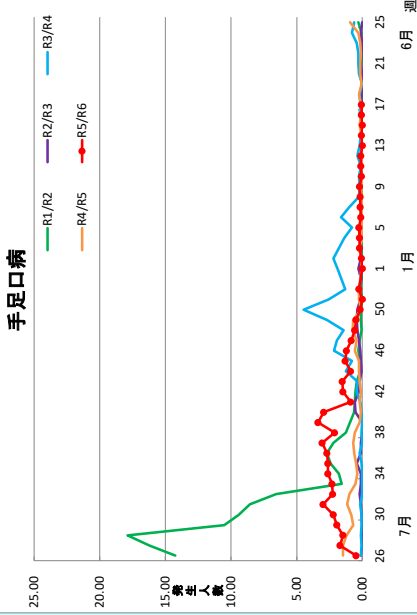
中国五県平均・全国平均との比較(定数当たり)



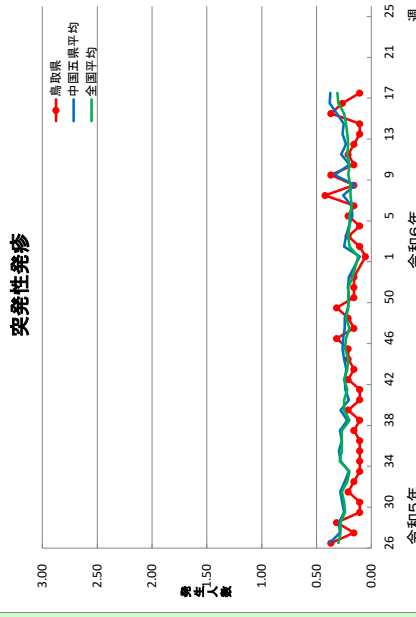
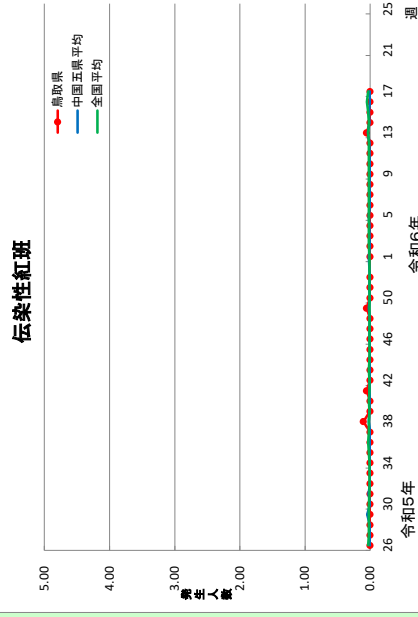
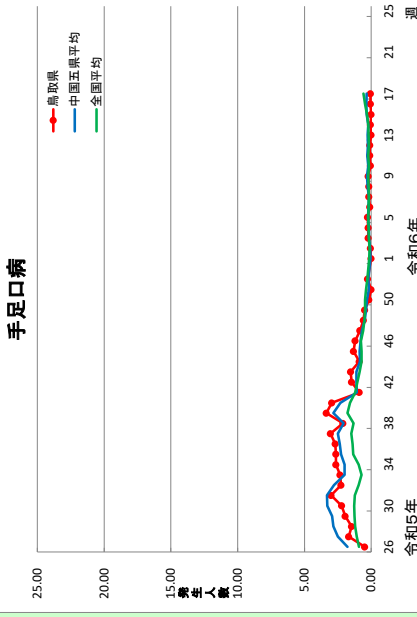
地区別発生状況グラフ(定点点たり)



年次別発生状況グラフ(定点点たり)

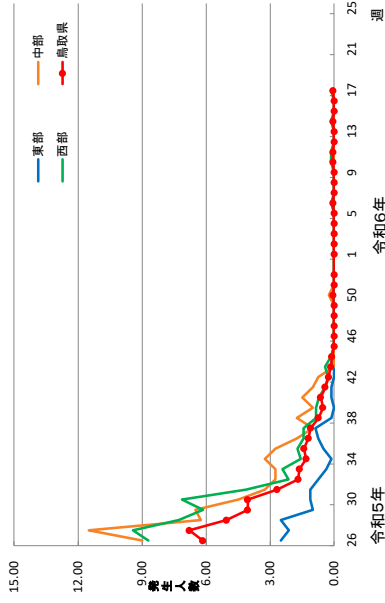


中国五県平均・全国平均との比較(定点点たり)

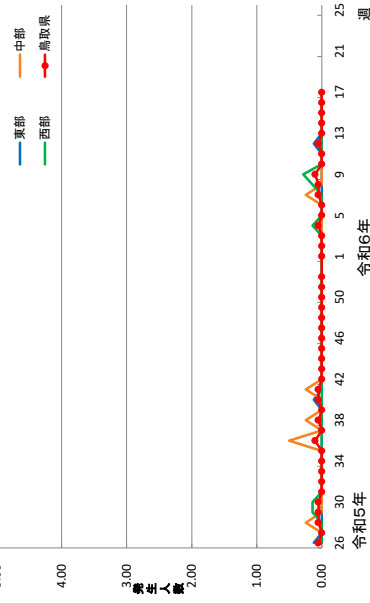


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

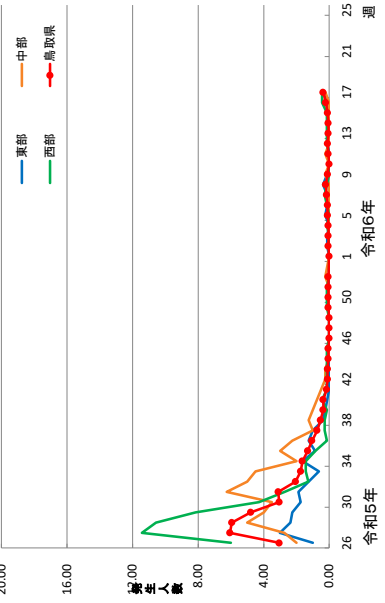
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

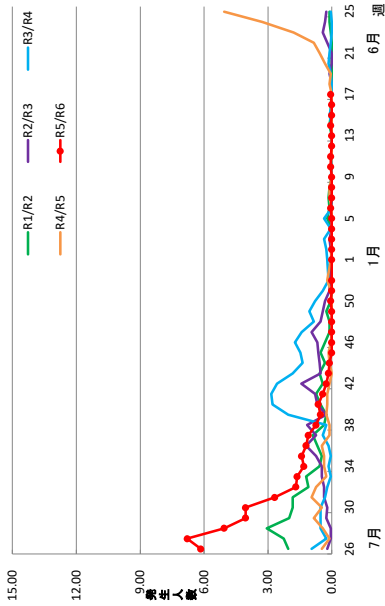


RSウイルス感染症

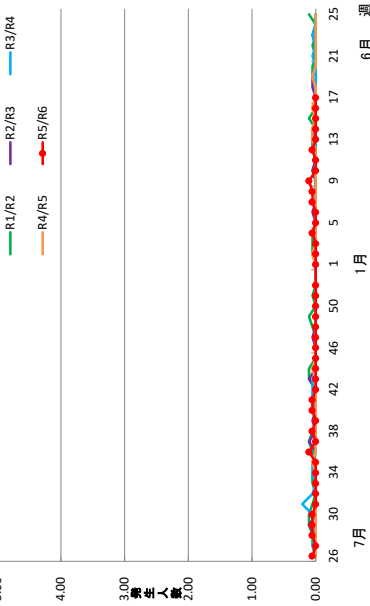


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

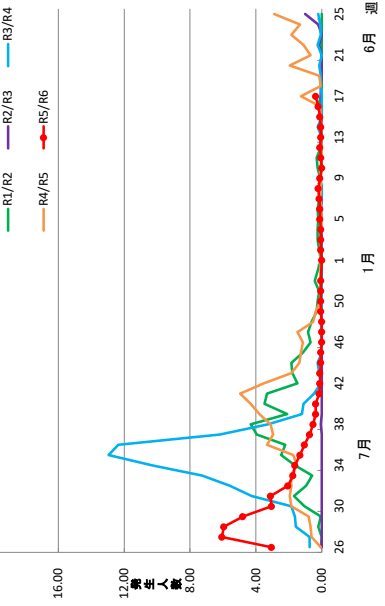
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

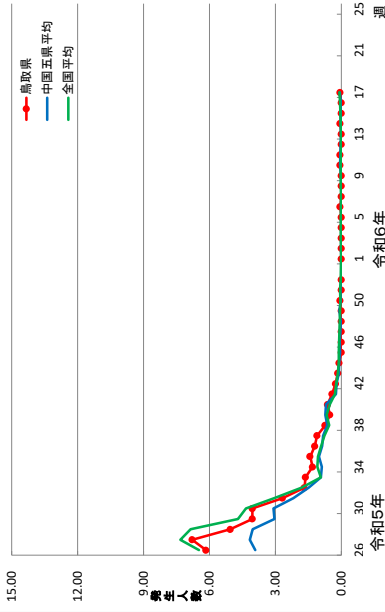


RSウイルス感染症

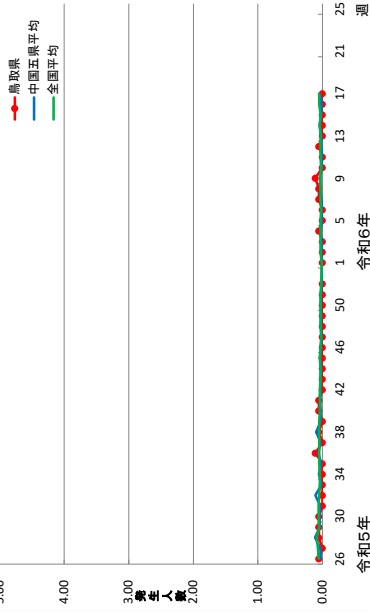


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

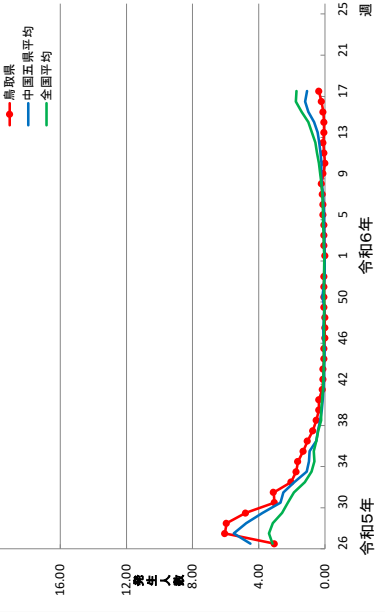
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

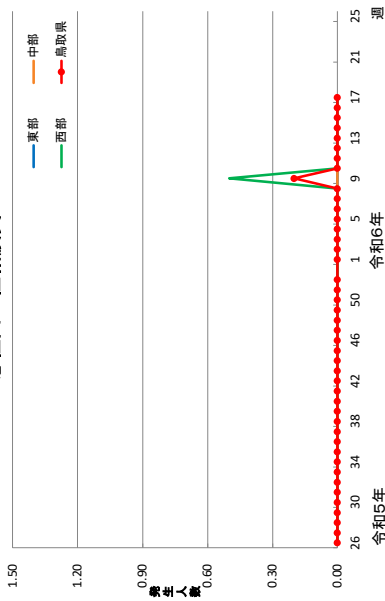


RSウイルス感染症

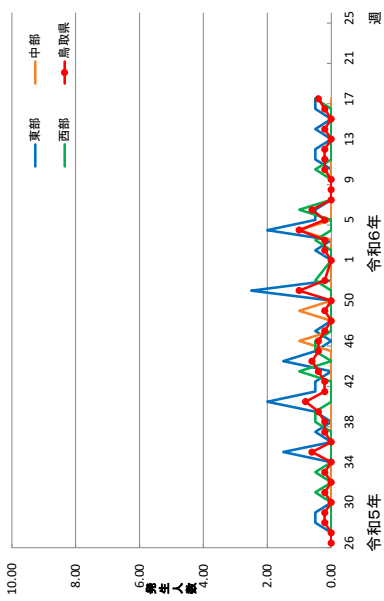


地区別発生状況グラフ(定点当たり)

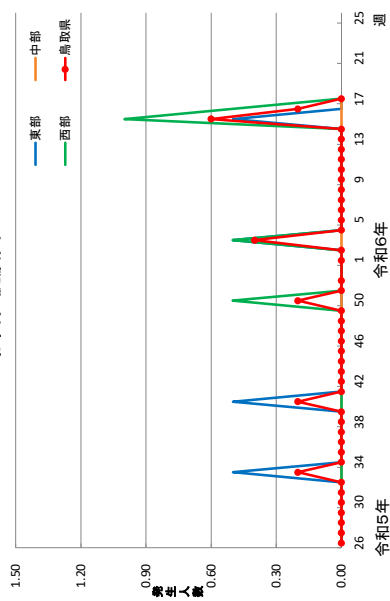
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

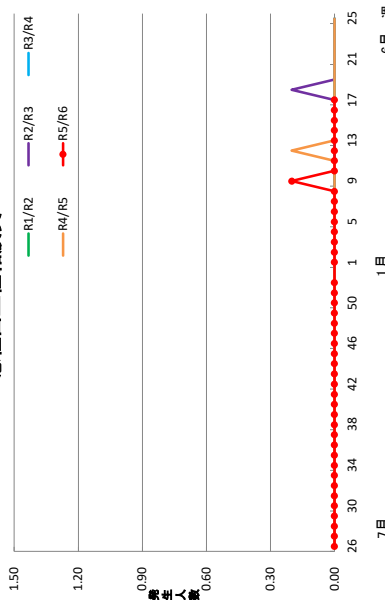


細菌性髄膜炎

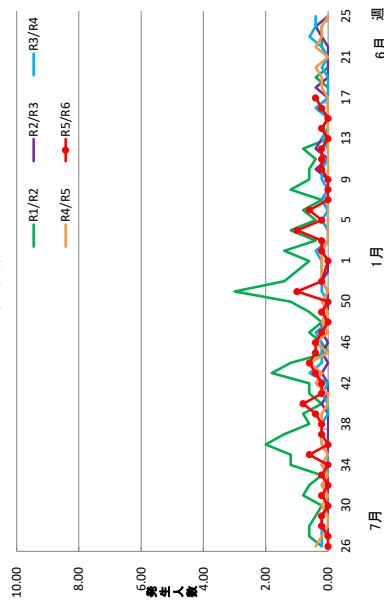


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

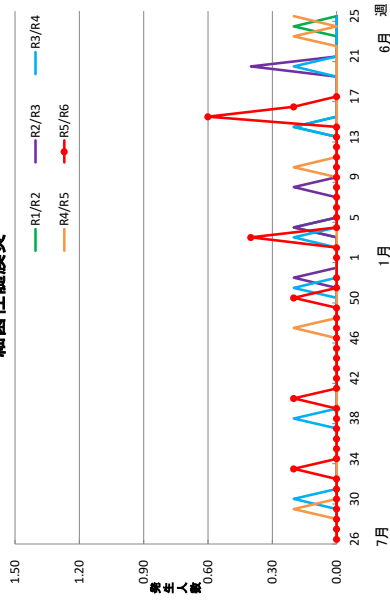
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

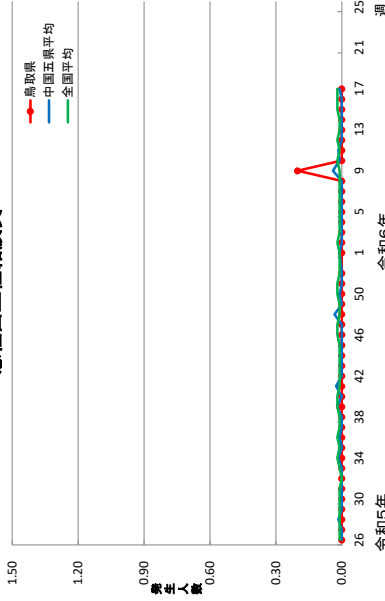


細菌性髄膜炎

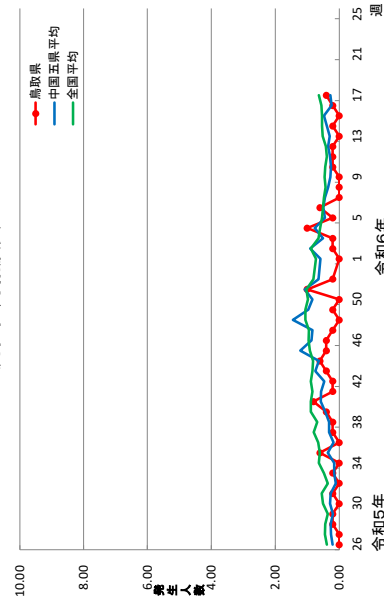


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

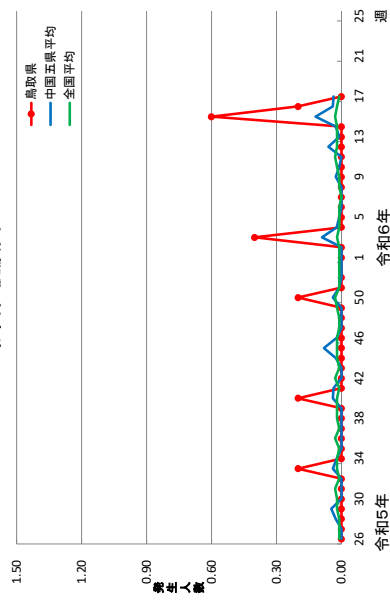
急性出血性結膜炎



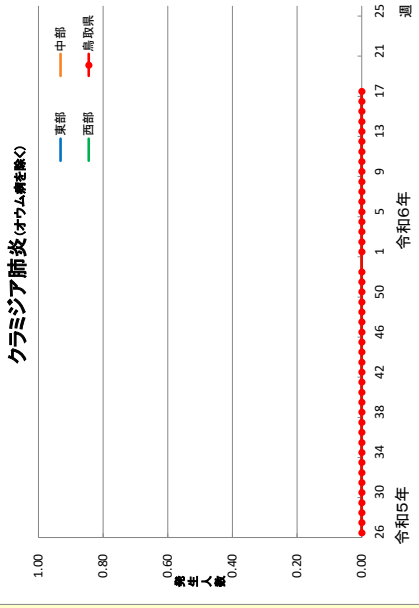
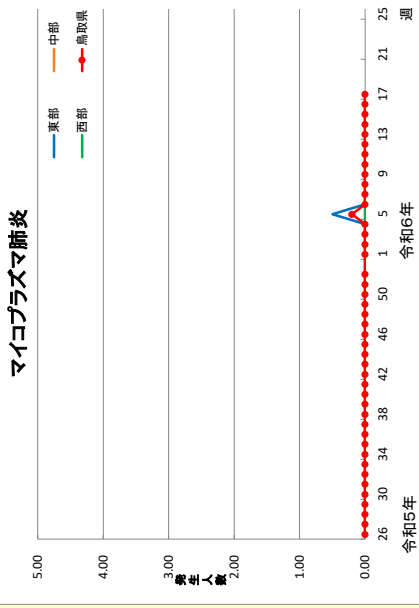
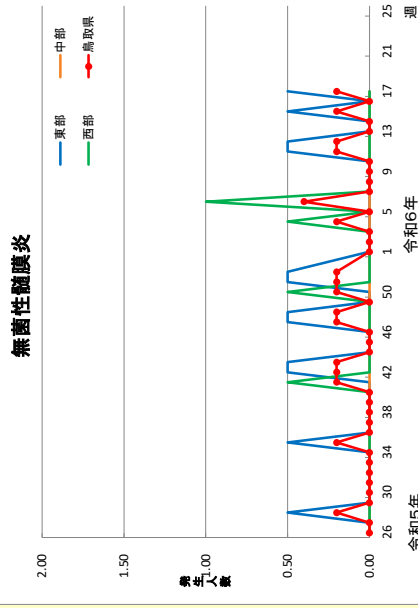
流行性角結膜炎



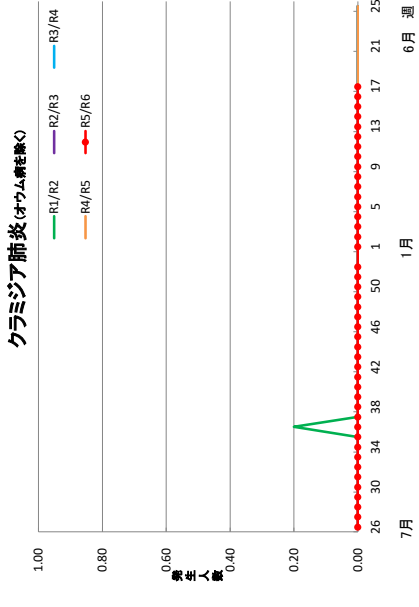
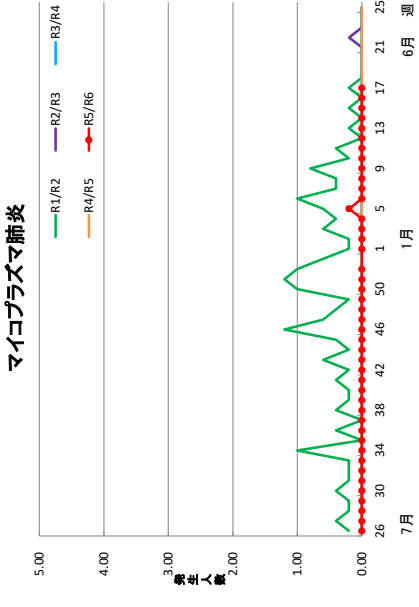
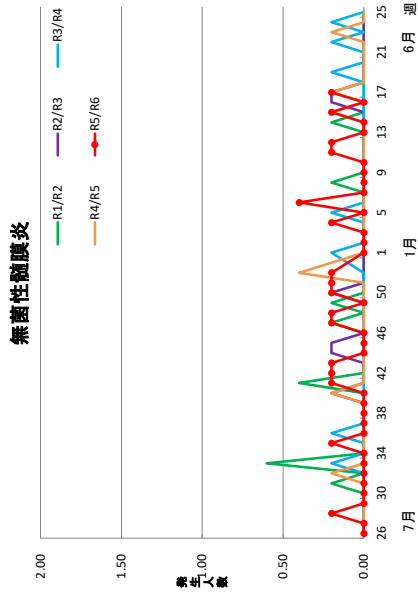
細菌性髄膜炎



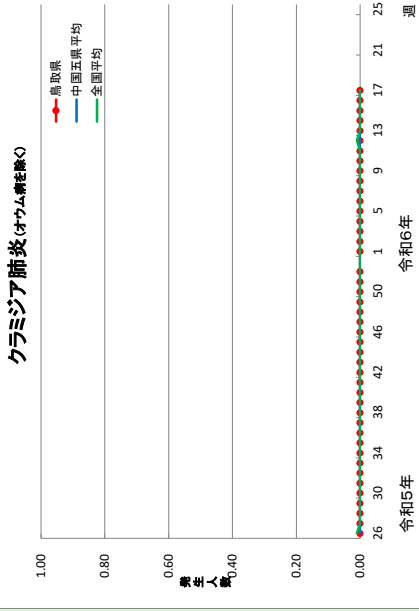
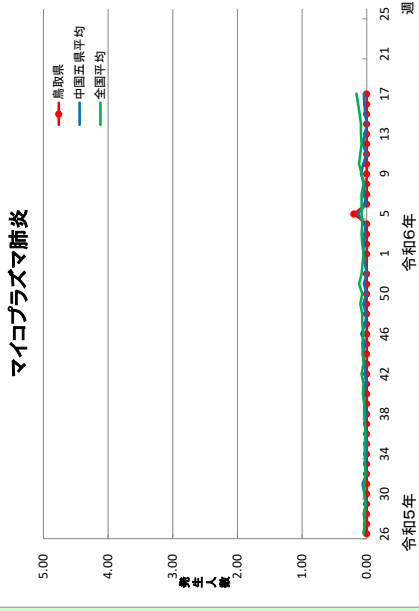
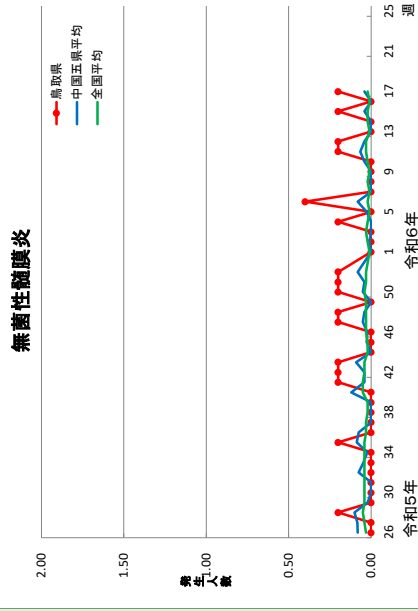
地区別発生状況グラフ(定点当たり)



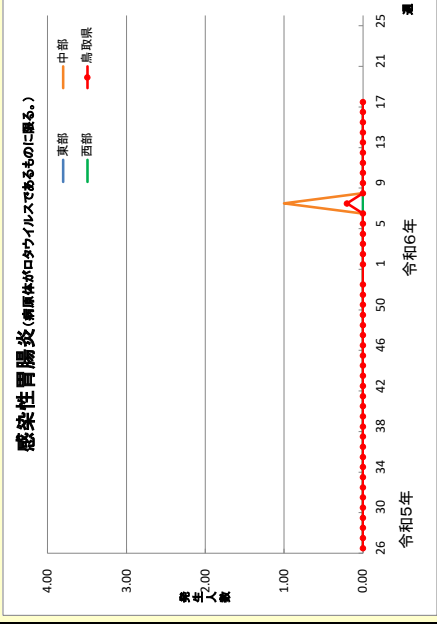
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



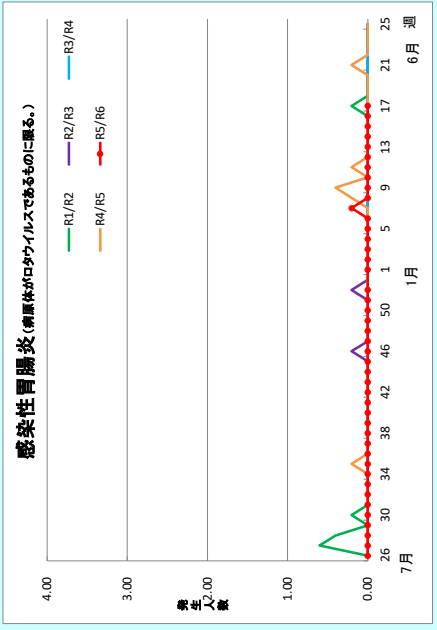
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



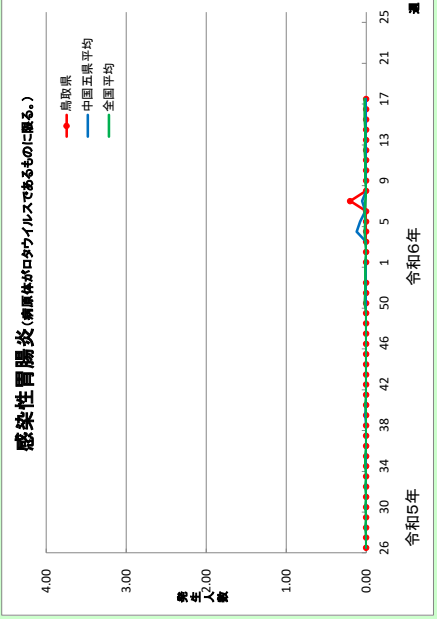
地区別発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

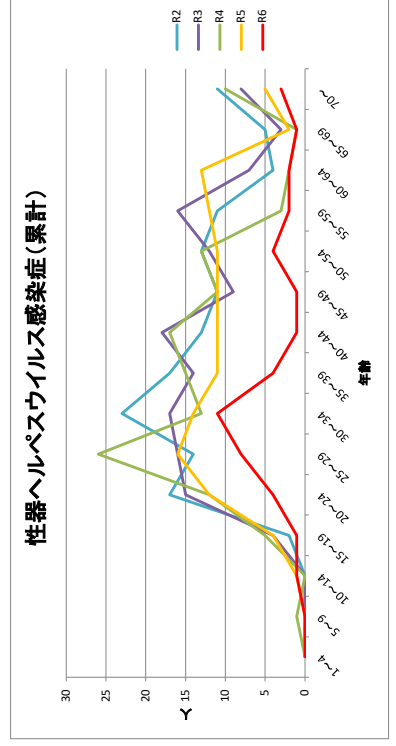
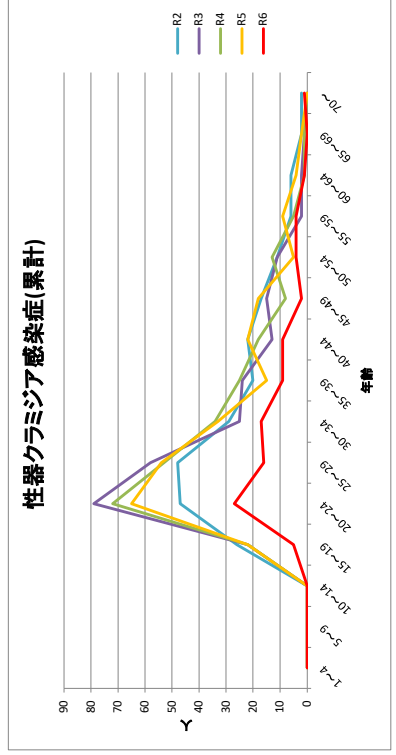
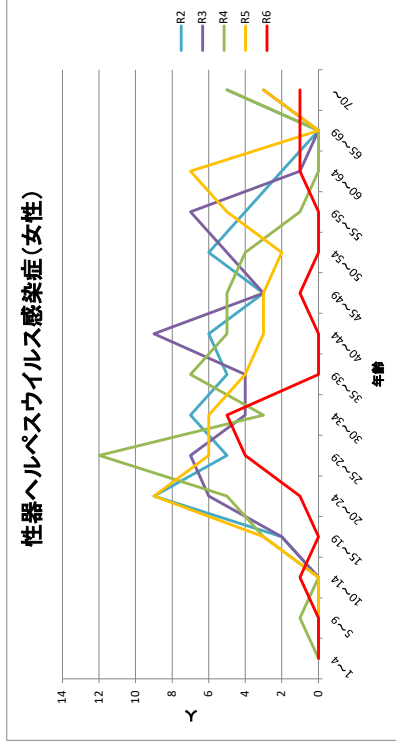
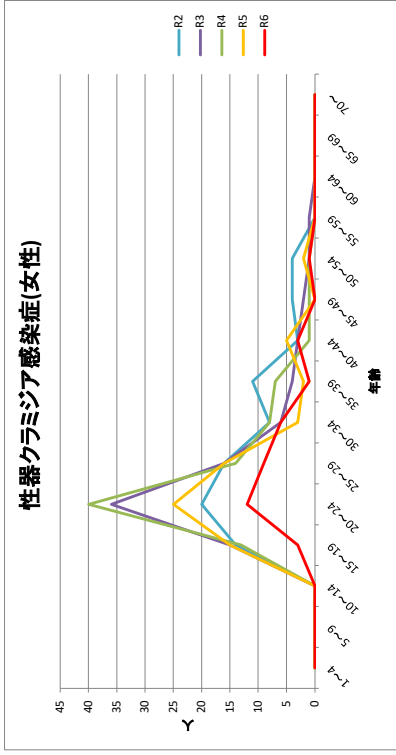
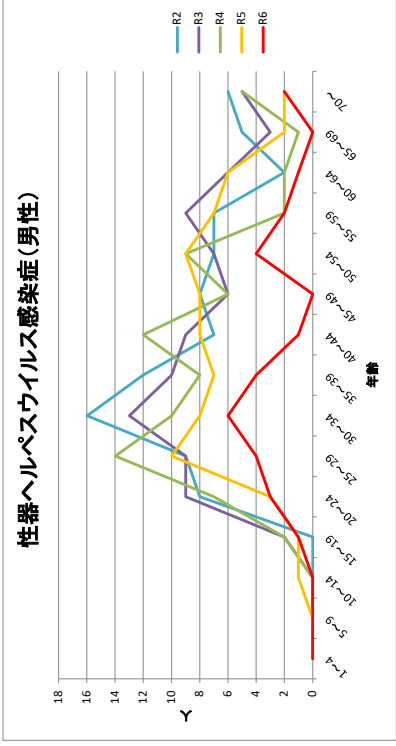
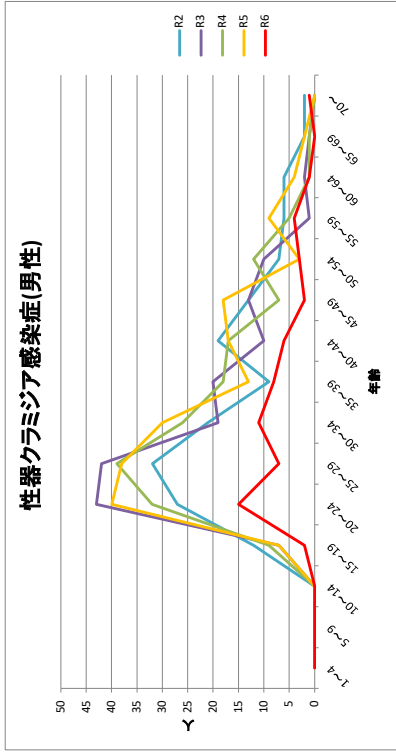


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

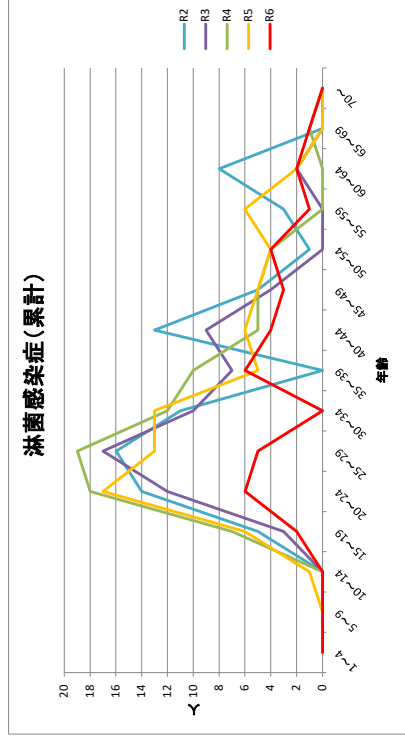
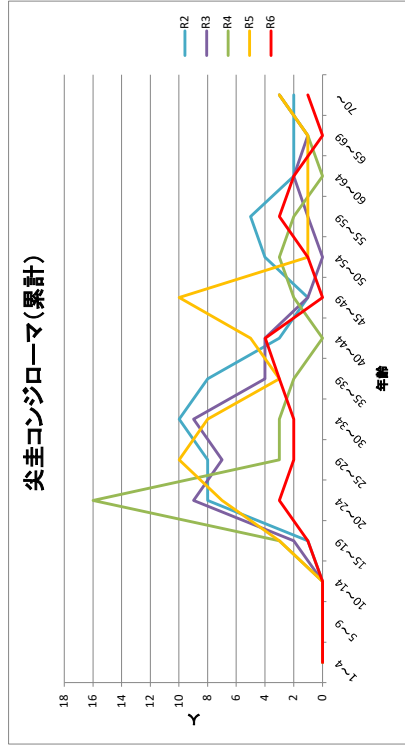
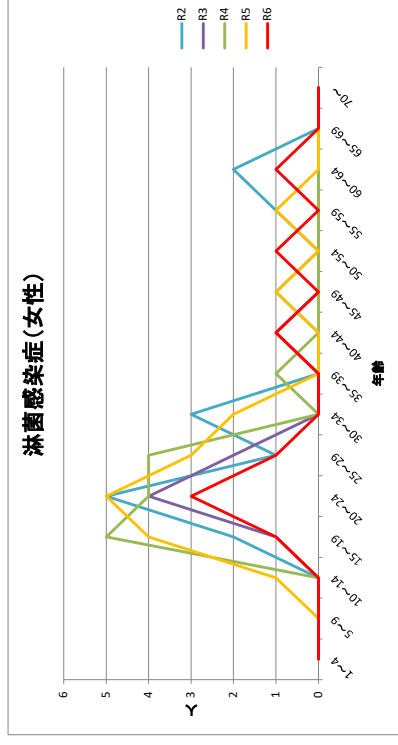
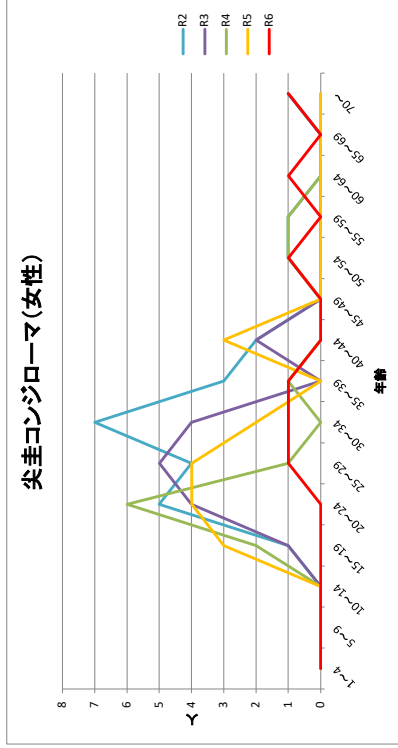
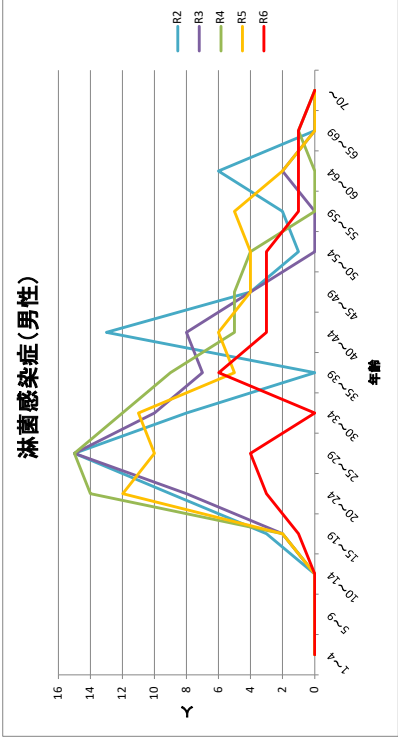
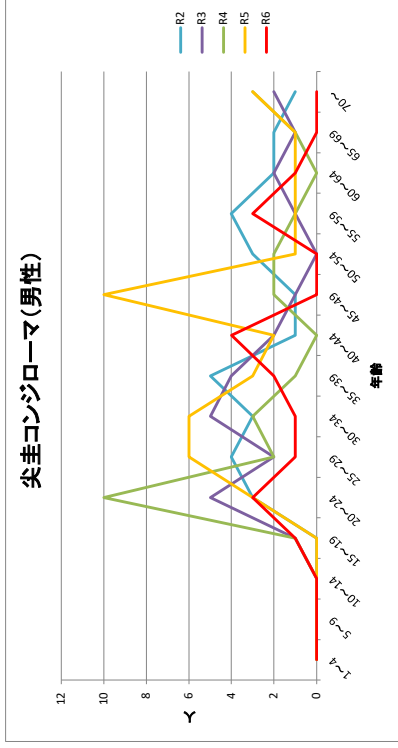


注) 新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

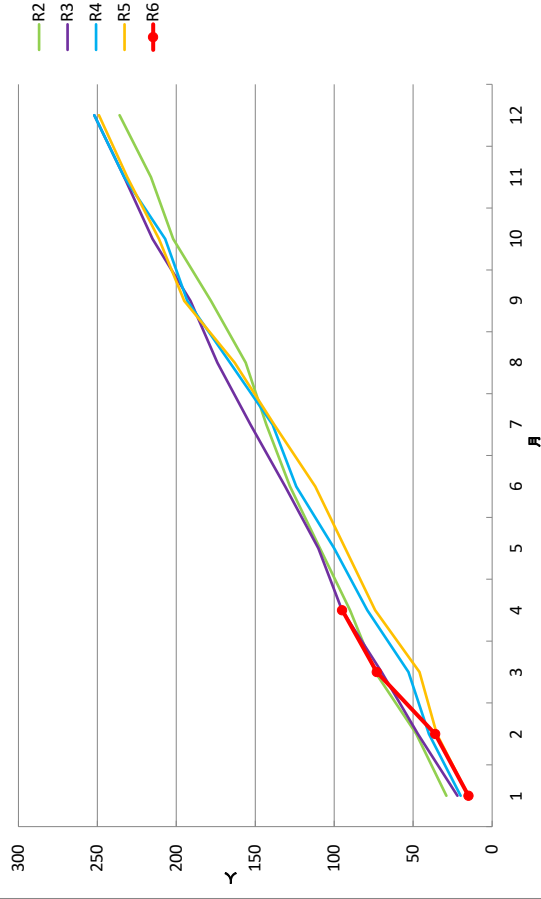
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



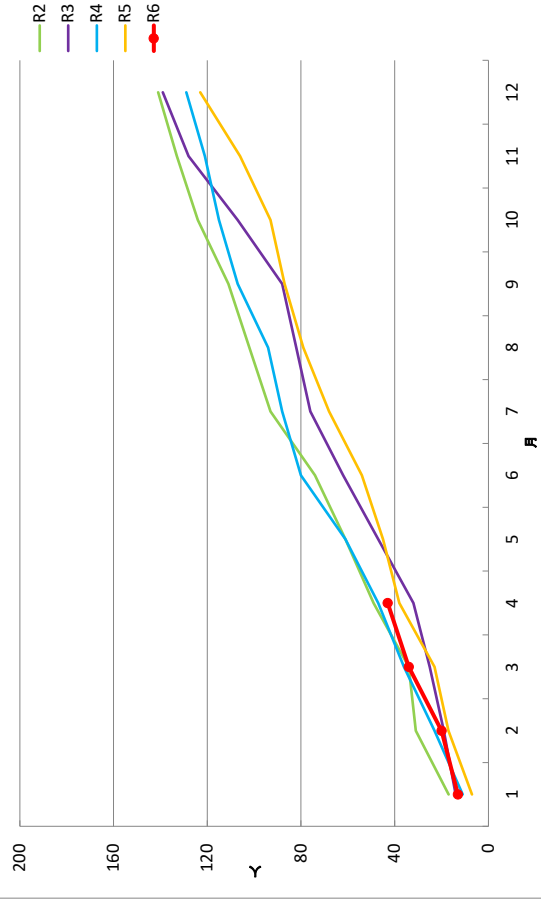
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



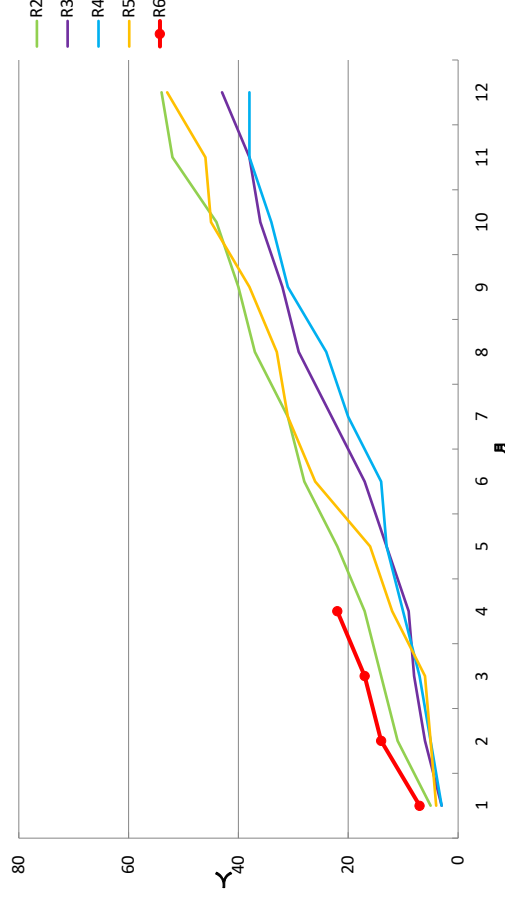
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



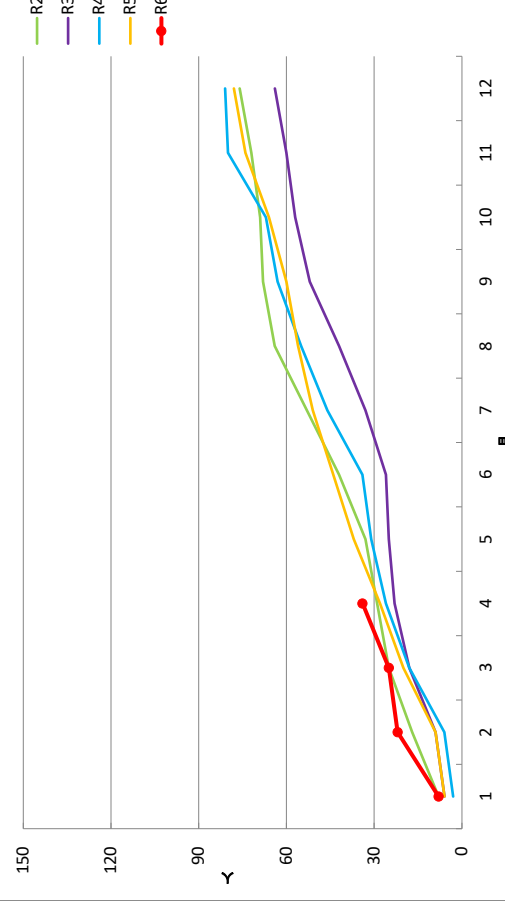
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



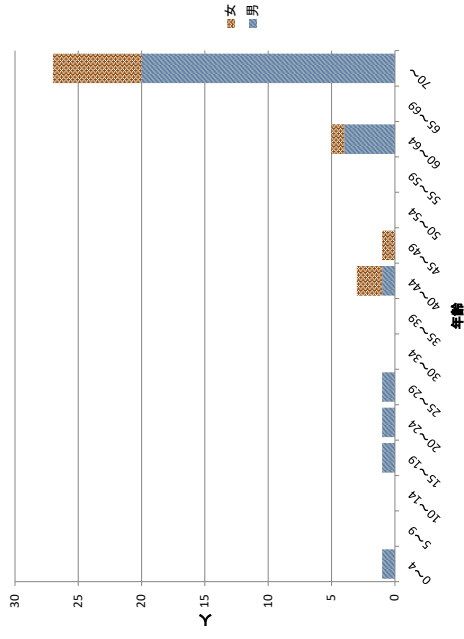
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



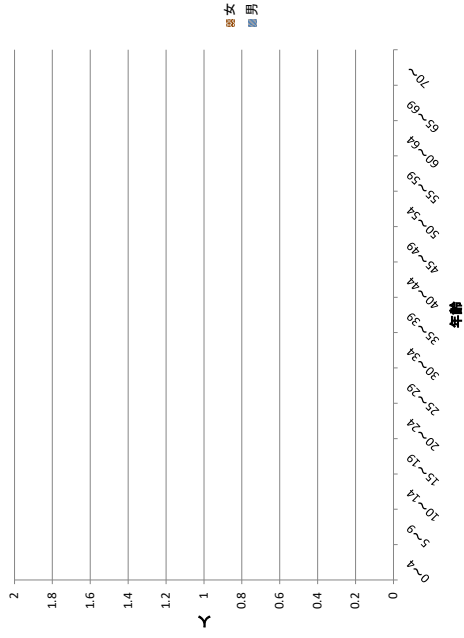
淋菌感染症報告状況(累計)



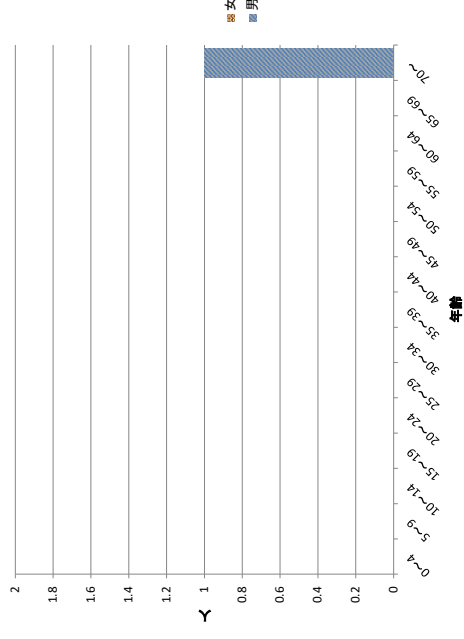
令和6年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(年齢別累計)



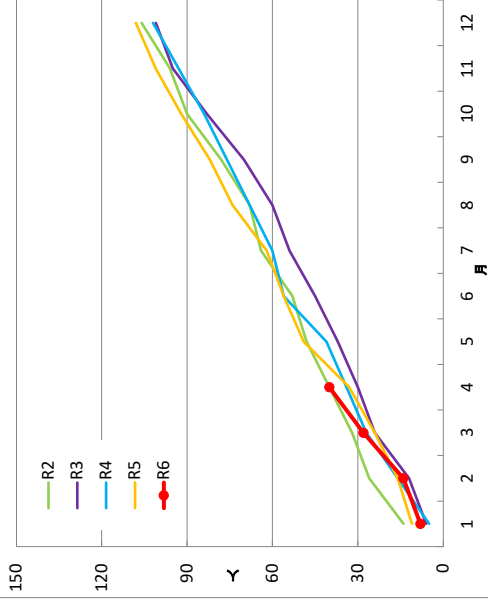
令和6年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(年齢別累計)



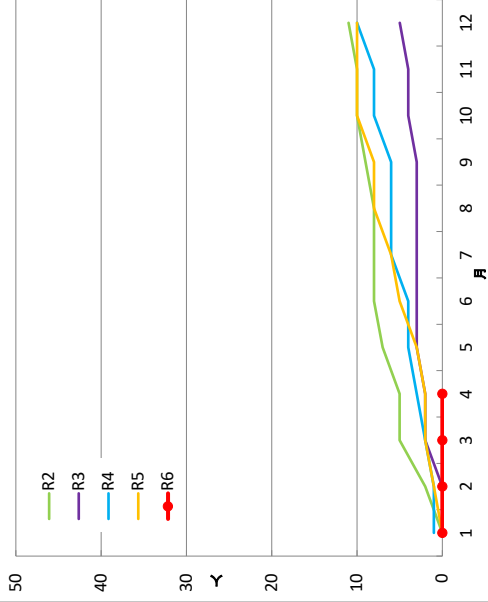
令和6年 薬剤耐性緑膿菌感染症
(年齢別累計)



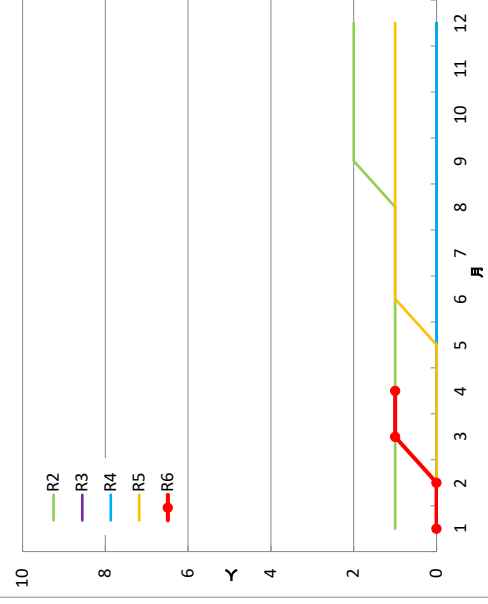
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和6年)

令和6年4月30日 現在
※()は前年数値

(1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計						
													4月時点	年間					
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)				
結核	3	(1)	2	(2)	5	(5)	6	(2)	(5)	(2)	(4)	(5)	(5)	(3)	(6)	(1)	16	(10)	(41)
潜在性結核 ※再掲	1			2	(2)	2		(1)		(2)		(1)					5	(2)	(7)
疑似症患者 ※再掲																	0	(0)	(0)
ジフテリア																	0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群																	0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群																	0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)																	0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)																	0	(0)	(0)

(2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													4月時点	年間		
コレラ														0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲														0	(0)	(0)
細菌性赤痢														0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症		1		1			(1)		(5)	(9)	(2)		(2)	2	(0)	(19)
腸チフス														0	(0)	(0)
パラチフス														0	(0)	(0)

(3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													4月時点	年間		
マラリア														0	(0)	(0)
E型肝炎							(1)							0	(0)	(1)
A型肝炎														0	(0)	(0)
つつが虫病				(1)										0	(1)	(1)
日本紅斑熱					(1)				(1)		(1)			0	(0)	(3)
重症熱性血小板減少症候群			(1)						(1)					0	(1)	(2)
レジオネラ症	(1)			(1)	(2)	(2)	(1)		(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	0	(2)	(11)
レプトスピラ症														0	(0)	(0)
デング熱					(1)									0	(0)	(1)
チクングニア熱														0	(0)	(0)

(4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													4月時点	年間		
アメーバ赤痢			(1)	1		(1)				(1)				1	(1)	(3)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				(1)										0	(1)	(1)
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)				(1)										0	(1)	(1)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1	(1)		1	(2)			(1)						2	(1)	(4)
クリプトスポリジウム症		(1)												0	(1)	(1)
クロイツフェルト・ヤコブ病			1											1	(0)	(0)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	(1)		2		(1)	(1)	(1)	(1)			(1)		5	(1)	(6)
後天性免疫不全症候群			(2)		(1)									0	(2)	(3)
無症候性キャリア ※再掲			(1)		(1)									0	(1)	(2)
AIDS ※再掲			(1)											0	(1)	(1)
侵襲性インフルエンザ菌感染症			1				(2)			(1)				1	(0)	(3)
侵襲性髄膜炎菌感染症														0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	1	(1)	(1)	2	(1)	3		(2)	(2)		(1)			6	(3)	(8)
水痘(入院例に限る。)												(1)		0	(0)	(1)
梅毒	2	(1)	5	(6)	1	(1)	2	(4)	(3)	(4)	(1)	(1)	(4)	10	(12)	(29)
播種性クリプトコックス症			(2)	1										1	(2)	(2)
破傷風														0	(0)	(0)
薬剤耐性アシネトバクター感染症														0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		(2)	(1)	1						(1)	(4)			1	(3)	(8)
ジアルジア症														0	(0)	(0)
百日咳	5	6	2	1	(1)	(1)	(1)							14	(1)	(3)
麻疹							(1)							0	(0)	(1)
風しん														0	(0)	(0)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計								
													4月時点	年間							
令和6年		1	1										2	(0)	2	(0)					
令和5年						1		5	9	(3)	2	(2)	2	(1)	0	(0)	19	(6)			
令和4年		2	(2)			1	2	3				3	(1)	3	2	(2)	14	(3)			
令和3年	1		3	(2)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)			5	(3)	10	(6)			
令和2年			1		2	(1)	7	(1)	2	3	(2)	7	(4)	3	(1)	1	1	(0)	26	(9)	
令和元年		1	1		6	(1)	1	2	4	(1)		3	(2)	4	2	(2)	2	(0)	24	(6)	
平成30年					3	1	4	(2)	9	4	1				0	(0)	22	(2)			
平成29年	1	(1)		1	1	(1)	7	(3)	5	(2)	1			4	(3)	1	(1)	2	(1)	21	(11)
平成28年						5	(4)	3	(1)	6	(1)	1			1	(1)	0	(0)	16	(7)	
平成27年						3	(2)	33	(23)	12	(7)	10	(6)	1	(1)	1	0	(0)	60	(39)	
平成26年						7	(4)	1	1	1	5	(3)			0	(0)	15	(7)			
平成25年		1	(1)		1		6	7	(3)	4	(1)	7	(2)		1	(1)	26	(7)			
平成24年						2	1	5	(1)	6	(2)	1		1	0	(0)	15	(3)			
平成23年				1	5	(2)	3	(2)	2	(1)	3	(1)	4	(2)	1	1	(0)	20	(8)		

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計				
令和6年							1						1		2	(0)			
令和5年		1	(1)										17	(4)	1	(1)	19	(6)	
令和4年					3							2	(2)	8	1	(1)	14	(3)	
令和3年					4	(2)						1	(1)	3	(1)	2	(2)	10	(6)
令和2年	1	4	(2)	1	4	(2)	3	(1)	1	(1)	1	1	(1)	7	3	(2)	26	(9)	
令和元年					3	(1)	4	(1)					15	(2)	2	(2)	24	(6)	
平成30年		2			3						1		16	(2)		22	(2)		
平成29年		1			2	(1)	4	(3)				1	(1)	10	(3)	3	(3)	21	(11)
平成28年		1	(1)										14	(5)	1	(1)	16	(7)	
平成27年		40	(28)	1	4	(2)	1					1	(1)	9	(4)	4	(4)	60	(39)
平成26年		7	(4)				5	(3)					3			15	(7)		
平成25年		3	(1)					1					21	(5)	1	(1)	26	(7)	
平成24年									1				15	(3)		15	(3)		
平成23年		9	(4)		2	(1)							7	(2)	2	(1)	20	(8)	

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計						
令和6年		1	1									2	(0)					
令和5年	1	2	(1)	1	1	4	(1)	2	(1)	4	(3)	2	19	(6)				
令和4年	5	1	2	1	1	2	(1)				2	(2)	14	(3)				
令和3年	1		1	(1)	1	(1)		1	(1)	1	(1)	3	(2)	2	10	(6)		
令和2年	7	2	2	2	1	(1)	4	(4)	3	(1)	3	(3)		2	26	(9)		
令和元年	9	(2)	2		4	(2)	2		1	(1)	3	(1)	3		24	(6)		
平成30年	2	2			10	(1)	3	(1)	1		2	1		1	22	(2)		
平成29年	3	(1)	1	2	(1)	2	(1)	2	(2)	2	(2)	4	(3)	4	(1)	21	(11)	
平成28年	4	4	(3)		1	2	(1)	3	(2)	1	(1)			1	16	(7)		
平成27年	22	(13)	18	(12)	2	(1)	2	(2)	4	(4)	6	(3)	1	(1)	3	(2)	60	(39)
平成26年	6	(1)	3	(1)			2	(2)	2	(2)	1			1	(1)	15	(7)	
平成25年	6	2	3	(1)	1	3	(1)	1	2	(1)	2	(1)	3	(1)	2	(1)	26	(7)
平成24年	3	3	(1)	3	1	2	2	(2)		1					15	(3)		
平成23年	4	(1)	5			3	(1)	3	(2)	1	(1)	2	(2)	1	1	(1)	20	(8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計				
令和6年		1	1	2	(0)			
令和5年	3	(1)	7	(1)	9	(4)	19	(6)
令和4年	5	(1)	6		3	(2)	14	(3)
令和3年	4	(2)	3	(2)	3	(2)	10	(6)
令和2年	3		15	(5)	8	(4)	26	(9)
令和元年	6	(2)	14	(3)	4	(1)	24	(6)
平成30年	7		5		10	(2)	22	(2)
平成29年	1		8	(4)	12	(7)	21	(11)
平成28年	2	(1)	12	(5)	2	(1)	16	(7)
平成27年	4	(4)	45	(31)	11	(4)	60	(39)
平成26年	1		8	(4)	6	(3)	15	(7)
平成25年	4	(1)	9	(3)	13	(3)	26	(7)
平成24年	7	(2)	1		7	(1)	15	(3)
平成23年			2	(1)	18	(7)	20	(8)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和6年4月検出分；検体採取 令和6年4月)

令和6年5月17日

鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体3件（検体採取4月上旬・中旬・下旬）について検査を実施したところ、インフルエンザ B ビクトリア系統が3件検出された（詳細は表1のとおり）。臨床診断名がインフルエンザ様疾患の検体1件（検体採取4月上旬）について検査を実施したところ、インフルエンザウイルスは検出されなかった。

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	0	
	11月6日	西部	3	1	2	0	0	0	
	11月9日	東部	1	0	1	0	0	0	
	11月27日	西部	2	0	2	0	0	0	
	11月24日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月8日	東部	1	0	1	0	0	0	
	12月18日	西部	2	1	1	0	0	0	
	12月20日	西部	1	0	1	0	0	0	
	12月23日	西部	1	0	1	0	0	0	
2024	1月17日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月22日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月23日	西部	1	0	0	1	0	0	
	1月22日	中部	1	0	0	1	0	0	
	2月5日	西部	2	1	0	0	0	1	
	2月6日	西部	1	0	0	1	0	0	
	2月15日	西部	1	0	0	1	0	0	
	3月2日	西部	1	0	1	0	0	0	
	3月4日	西部	2	1	0	1	0	0	
	3月5日	西部	1	0	1	0	0	0	
	4月10日	西部	1	0	0	1	0	0	今回報告分
	4月16日	西部	1	0	0	1	0	0	今回報告分
4月24日	西部	1	0	0	1	0	0	今回報告分	
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			34	9	16	8	0	1	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（5月9日作成）によると、2023/24 シーズンはAH3型が最も多く検出されており、次いでA(H1N1)pdm09型が検出されている。また第1週以降、B ビクトリア系統の検出割合が増加している（図1）

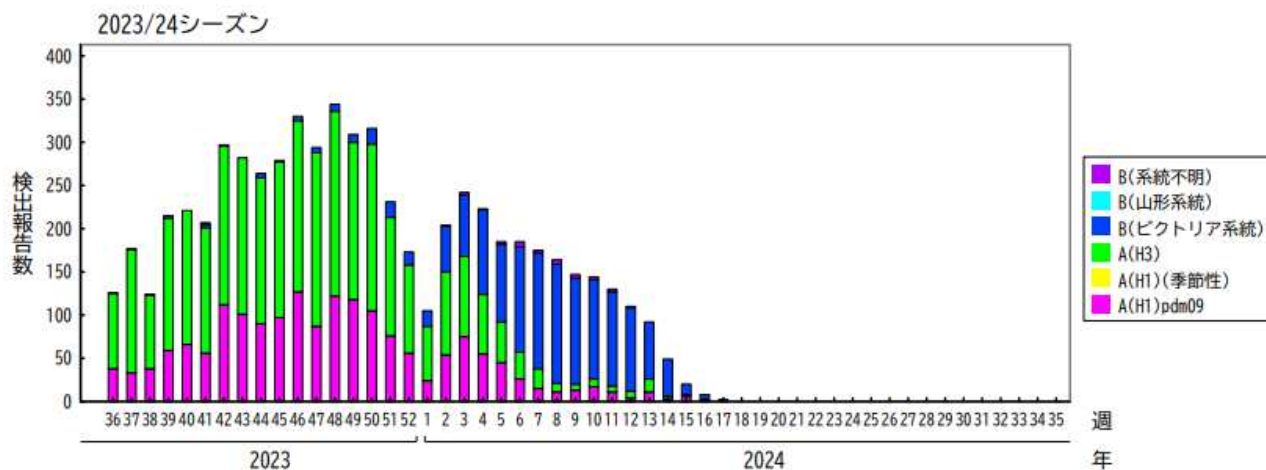


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24 シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2024年5月9日作成）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について検査を行ったところノロウイルスGⅡ型が1件、アストロウイルスが1件、エンテロウイルス(CV-B2)が1件検出された（1件は全て未検出）。（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
240003	3月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
240004	3月上旬	検出 GⅡ.4 Sydney [P16]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
240005	3月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 CV-B2
240006	3月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出	(-)
検出計		1件	0件	0件	0件	0件	1件	1件

(-)：未検出

3 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の検体1件（検体採取2023年11月下旬（検体番号240001））について検査を実施したところ、ウイルス（検査項目はエンテロウイルス・アデノウイルス・ムンプスウイルス・ヘルペスウイルス）は検出されなかった。

4 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件（検体採取3月中旬（検体番号240002））について検査を実施したところ、アデノウイルス(B種)が検出された。

